

Principal Correspondence

第一印象で全てが決まる？

アメリカのビジネスマン向けの啓発書などを読むと、よく「第一印象で全てが決まる」などと書かれています。

- エグゼクティブはオフィスで上着を脱いだり、半袖のワイシャツを着たりしてはならない。相手は服装を見て判断する。
- 靴をしっかりと磨くこと。そうしないと部下の緊張も緩んでしまう。
- 人は無意識に反応する。

アメリカなどの様に、一回性の出会いでビジネスが進んでいくような社会は、第一印象を極めて重要視していることがわかります。

ホテルマンが暑くとも上着や長袖のワイシャツを着用するのはそのためで、そういえば（恐れ多いことではありますが）皇室の方々も、長袖のシャツをお召しになり暑ければきちんと袖まくりをされているのを拝見します。

心理学的には人は初対面で好き嫌いを5～45秒で決めるなどと言われます。
(能率人間のリラックス教本 坂本元著)



勿論、人は長く付き合うと良さがわかったり、好きになったりすることはありますが、第一印象が良いに越したことは無く、それが次のチャンスに繋がるなら、なおのことです。

きちんとした服装の着こなしや、姿勢、清潔さ、笑顔、はきはきとさわやかな挨拶、受け答え、優雅な物腰などが大事です。

心がきれいなら、心が温かければ外見は何でも良いというのは映画の世界の話。

「普段はやらないけど、いざとなればやれる」と言った代議士が、国会中継でポケットに手を入れて猫背で歩いている姿を見て、やはり常日頃が大事だと思いました。

リリーベール小学校では「着こなし」「姿勢」「清潔さ」「はきはきとした挨拶、受け答え」は小さい時からの習慣として必要と考えます。

身近にいる我々職員も例外ではありません。男性職員は毎週火曜日の全校朝会ではネクタイとジャケットを着用する決まりになっています。女性教職員もドレスコードがあります。暑いときでも暑がらず、寒いときでも寒がらず。おとなが悠々とした身のこなしで模範を見せることも大事です。

